

夫婦で 職場で みんなで話そう 考えよう

どうなる？どうする？

30代の ワーク・ライフ・バランス

平成28年1月発行

編集：NPO法人 Smiley Dream

発行：東海市 市民福祉部 女性・子ども課
女性活躍推進担当

〒476-8601愛知県東海市中央町一丁目1番地

052-603-2211,0562-33-1111

E-mail: kodomo@city.tokai.lg.jp

この情報誌の発行はまちづくり協働推進事業として、
東海市がNPO法人Smiley Dreamに委託しています。



東海市

| | |
|--|---|
| 「男だから」「女だから」と、 子どもに言っていませんか？ 愛知大学地域政策学部教授 功刀 由紀子 | 2 |
|--|---|

データで見る 30代のワーク・ライフ・バランス

| | |
|-----------------|----|
| ① ワーク編 | 7 |
| ② 子育て・仕事編 | 11 |
| ③ 30代のいろいろな生き方編 | 15 |

40代からのアドバイス

発行に寄せて

編集後記

「男だから」「女だから」と、 子どもに言っていませんか？

愛知大学地域政策学部教授
功刀 由紀子

1. 物事にはすべて理由がある

質問です。「△と□、どちらかを選んでください」

さあ、答えは？

「う～ん、いきなり選べと言われても、どっちでもいいんだけど…」
恐らく大半の読者は、こんな答えが頭に浮かんでいませんか。

では、質問を変えましょう。ここに、皆さんの欲しいと思っている物が入った箱があります。しかも、三角形の鍵で開けることが出来ます。四角形では開きません。

「さあ、どちらかを選んでください。」と言われてたら、どうでしょうか。全員とは言いませんが、多くの方は△を選ぶでしょう。「うん、うん」とうなづいている読者の皆さんが見えますよ！

おや、こんな質問で著者は何を言いたいのか、とお叱りの声がかえってきました。「だから人間は欲張りなのだ。」などとお説教をしたいわけではありません。私たち人間を含めた地球上の全生物は、理由があるから行動していると言いたかったのです。言い換えると、私たちの行動にはすべて理由があり、理由のない行動はないのです。犯罪の理由が「なんとなく」などという報道を時折目にしますが、加害者が気付いていないのであり、犯行に至るまでの経緯に理由は存在しているはずで。

ですから最初の質問で、△か□を選ぶための理由を持っていない時には、選択という行動を起こすことが難しかったわけですが、でも、質問を変えて理由付けをすると、選択行動は容易になりました。もちろん皆さんの中には、最初の質問でさっと△あるいは□を選んだ方がいるかもしれませんが、この場合でも、以前から形としての△あるいは□が好きだという「理由」があり、さらにはなぜ△あるいは□が好きになったのか理由があるはずで。

2. 「男だから」「女だから」は理由にならない

ところで、なかなか子育ての話が始まらない、と怒らないでください。ここからです。

読者の皆さん、今から挙げることに心当たりがないか思い出してください。子どもたちに向かって「男の子だから」「女の子だから」これはだめ、あるいは、こうしなさい、と言ったことはありませんか。

「う～ん、ああ!!」、どうやら思い当たる読者は多そうですね。これは、子ども達を注意し彼らの行動を制約したいとき、男女の性別を理由に挙げていると言えます。そして、皆さんが性別を理由にして子ども達の行動を制約することは、とりもなおさず皆さんの意識の中に「男の子はこうあるべき」「女の子はこうでなければならない」という男女の性別に基づいた差別を、気付かないうちに作っているのではないのでしょうか。

このように、男か女だけを理由に行動を制約された子ども達は、どのような意識を持つようになるか考えてみませんか？

3. 男女差は本当に存在するか

ところで、性差は本当にあるのでしょうか？もしあるのだとすれば、どこがどのように違うのでしょうか。また、違いがはっきりしているのであれば、男の子と女の子の育て方には違いがある、いや、違う育て方をすべきではないか、と考えを巡らしている読者もいらっしゃるかもしれません。

3-1. 体の違い

では、性差の存在についてお話ししましょう。まずは体の構造の違いについて、体の外形の違いは確かにあります。これは、体の内部の違いに由来するものです。男は精巣、女は卵巣を持っています。ここで作られるホルモン類によって、体の外形が異なってきます。これらは形の違いですから、体の内部であってもいろいろな方法で記録を取ることができ、私たちはそれを目で見ることができます。

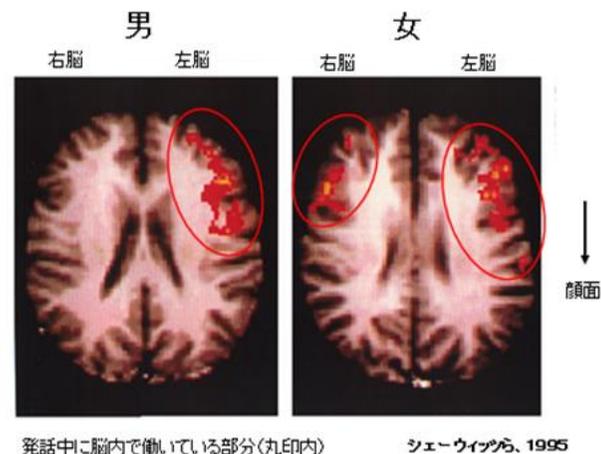
3-2. 脳の違い

それ以外に、形では表せない違いがいろいろと言われてきました。たとえば、運動能力は男が優れている、学問では理数系は男が得意、一方、女はおしゃべりだし学問では文系が得意などと、運動能力や知的能力、さらには性格などに関わる性差です。皆さんも、なんとなく思い当たるところがありませんか？

でも、男だっておしゃべりな人は多いし、女だって理数系抜群の学生は少なくありません。ですから、本当にこのような違いがあるのか、あるとしたらその原因は为什么呢？

ここで注目されるのが脳の構造や働きです。脳は、1800年代から研究されてきました。その研究結果として、統計的に脳の重さが女は男より約100g軽いことが認められています。この結果が悪用され、脳の軽い人間は劣っている、つまり、女は男より劣っていると言われてきました。軽いことが、劣っている理由にはなりません。パソコンをはじめ、軽いからこそ優れものといわれているモノはたくさんありますね。

ところで、男女の能力の違いは、脳の働きの違いであると随分昔から言われてきました。その違いをはっきりと示した実験結果がこの図です。



このMRI写真は、私たちの脳を横方向に輪切りにし、上から見ている写真です。文字を見ながら読み上げているとき、私たちの脳は丸で囲んだ部分を使っていることを示しています。

私たちの脳には場所による役割分担があり、文字の読み上げには、男の写真が示している部分を使います。ところが女では、反対側まで使っている、つまり脳の使い方が違うのです。図が示していることは、結果が同じでもそこに行き着く道筋が脳内には複数あり、男女で違う道筋を選んでいることを表しています。

4. 男女差の考え方

MRIは、病気の検査に使われている機械ですが、これを利用し男女の脳の使い方や構造の違いが少しずつ明らかにされています。どうやら、男脳と女脳の違いが存在するようです。

さらに、こんなことも研究結果から分かってきました。男ならすべて男脳、女ならすべて女脳を持っているとは限らないことです。図の研究でも、男女各19名が同様の実験に臨んだのですが、男でも女脳、女でも男脳に近い結果を示した場合もありました。

このような研究結果から、私たちは男と女の違い、性差をどのように考えればよいのでしょうか？違いは存在するようだが、多様性が存在すると捉えるべきでしょう。男の型、女の型と言うはっきりとした区別が存在するわけではなく、ましてや、どちらかが優れていることなど決してありません。人の脳にも個性があるということです。

男女の違い、性差に関する科学的研究は、まだ多くはありません。研究者の中には、男女それぞれに得意分野があるとしたら、それを学校での教育方法に応用しようと研究しています。男女の得意分野が本当にはっきりするのであれば、そこを伸ばす教育は有効かもしれません。でも、「男だから」「女だから」とそれぞれの得意分野などと言わずに、子ども一人ひとりの得意分野を伸ばす教育を心がけることで充分ではないでしょうか。

5. 「男だから」「女だから」と言われ続けると

私たちが見たり聞いたりしたこと（外部情報）は、脳の役割分担をしている部分に神経細胞が伝えてくれます。脳は多数の神経細胞からできていて、各神経細胞は手をつないで外部情報をいろいろな場所に伝えます。神経細胞のネットワークです。このネットワーク

が広いと、外部情報に対して短時間に様々なことを考え、行動を起こすことが出来ます。“頭の回転が速い”と褒められる人の脳は、きっとこのネットワークが広いのでしょう。でもこのネットワーク、外部情報が通らないと神経細胞同士は手を放し、ネットワークを解消してしまいます。私たちと同じですね。

子ども達がたくさんの本を読んだり、多くのことを見たり聞いたり経験し、個性豊かな発想や行動をしようとしているとき、「男だから」「女だから」を理由にそれらを制約することは、ネットワークを解消する方向に働いてしまいます。子どもたちの個性を伸ばすことにはなりませんね。

でも「男だから」「女だから」は、とても便利な表現です。子ども達を注意したいとき、はっきりとした理由がない場合はスッと口をついてしまいます。これからは一呼吸おいて、子どもと一緒に「男、女」以外の理由を考えてみませんか？

【講師プロフィール】

功刀 由紀子（くぬぎ ゆきこ）



愛知大学 地域政策学部 教授
一般社団法人日本女性科学者の会会長
内閣府男女共同参画連携推進会議議員

京都大学農学部、同大学院農学研究科博士課程修了（農学博士）後、マックス・プランク実験医学研究所（ゲッチンゲン、ドイツ）研究員、京都薬科大学を経て1995年より愛知大学勤務。学生時代からの研究分野とはいささか異なるが、性差の捉え方や男女共同参画の在り方には興味を持っている。著書（編著）「性差の科学」ドメス出版、「生命のフィロソフィー」世界思想社

次のページからは…

「男だから」「女だから」ではなく、一人ひとりの得意分野を伸ばして、生き生きと生きていく。子どもだけでなく、私たち大人も、大切にしたいことですよね。この冊子では、30代の私たちがこれから自分らしく生きるにはどうしたらいいかを皆さんと一緒に考えていきます。

データで見る 30代のワーク・ライフ・バランス

① ワーク編



◆◆ 30代のキーワード ◆◆

ワーク・ライフ・バランス



- ◆ ワーク・ライフ・バランスは「仕事と生活の調和」のことです。
仕事と家庭の割合を半分ずつにする、ということでも、子どもが生まれてからも必ず仕事を続けなければならない、ということでもありません。
- ◆ 一人ひとりが「自分にとって、一番心地よい」と感じられる働き方・働く時間・家庭での役割を選び、実現していくことです。
そのためには、自分がどのように生きていきたいか、この先の人生にはどのようなことが起こりうるかを考えること。職場や家庭で、実現していくために話し合い、お互いの生き方を認め合っていくことが大切です。



この冊子では、30代で迎える人生の節目ごとに、私たちがどのような生き方、働き方をすればよいか、考える材料となる情報やデータを紹介していきます。

ワーク・ライフ・バランスにはこれ！という唯一の正解はありません。
一人ひとりにとって一番快適と思える仕事と生活のバランスを見つけていくことです。

◇ 30代は働きざかりのピーク

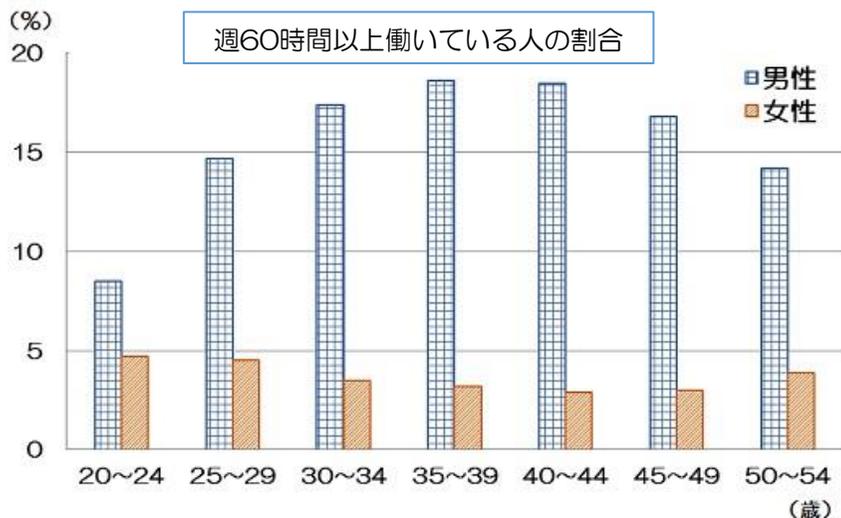
◆ 30代は職場の最前線

若く体力があり、20代での仕事の経験もある30代。
責任のある仕事を任せられ、後輩の指導にもあたる
『プレイング・マネージャー』を初めて経験する人も多い。

◆ 転職・結婚・子育て…

30代は人生も大きく動く時期

20代での仕事を通して、自分の適性ややりたいことが明確になると同時に、結婚や出産などのライフイベントを通じて、これからのキャリアを考え始める時期でもあります。



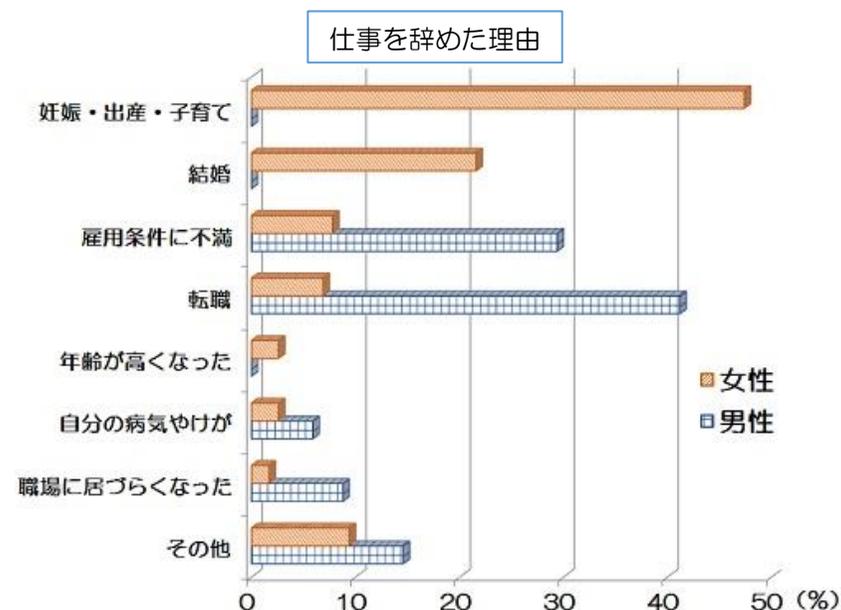
(総務省「労働力調査」2009年)

30代では、女性は出産などを機に仕事を減らす一方、男性は労働時間がピークに。

30代はこれからの人生を決める10年と言っても過言ではありません。私らしい人生を送るためにこの時期をどう過ごしていくか、考えてみましょう。

◇ 30代が仕事を辞める理由

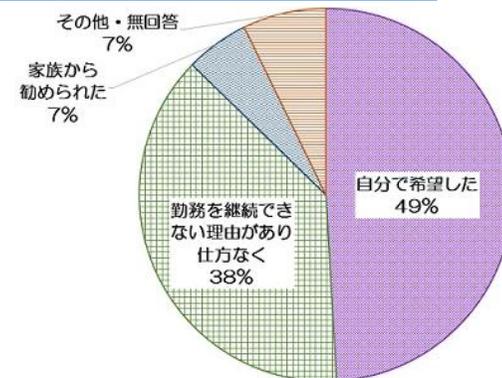
◆ 30代の退職の理由は女性は「妊娠・出産・子育て」男性は「転職」がトップ。



妊娠・出産・子育てを理由に仕事を辞めた30代女性

妊娠・出産を機に仕事を辞めた女性のうち、ほぼ半数が「自分で希望して退職した」と答えています。

同時に「仕事が継続できなくなりやむを得ず」と答えた人も4割近くいます。



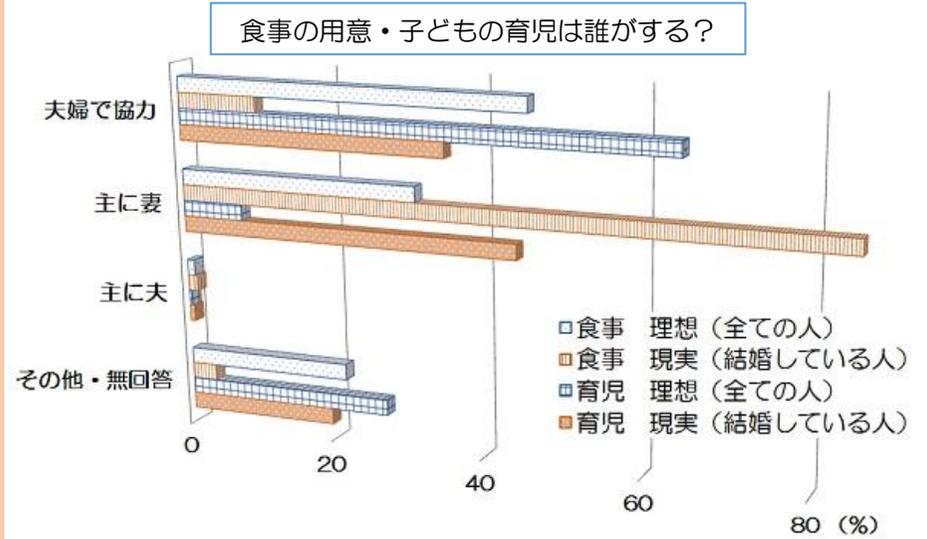
(東海市「男女共同参画に関する市民意識調査」2013年)

データで見る 30代のワーク・ライフ・バランス

② 子育て・仕事編



◇ 30代の理想と現実

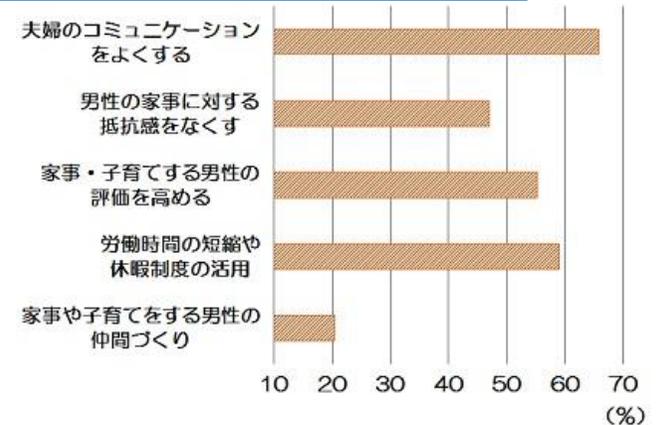


(東海市「男女共同参画に関する市民意識調査」2013年)

「理想」は家事も育児も夫婦で協力と考える人がトップ。
しかし「現実」は家事も育児も主に妻が担当しています。

男性がもっと家事に関わるためには

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくする」がトップとなっています。



(東海市「男女共同参画に関する市民意識調査」2013年)

■これから必要になるお金

出産

出産にかかる費用（自然分娩）

30万～70万円

（健康保険から「出産育児一時金」が子ども1人につき基本42万円支給されるため、かなり軽減されます）



幼稚園

小学校

子どもの教育にかかる費用

○幼稚園から高校までの15年間

すべて公立 約500万円

すべて私立 約1,677万円

（文部科学省「平成24年度子供の学習費調査」）

中学校

高校



大学

○国立大学の授業料

入学料 約28万円

授業料 約214万円（4年間）

○私立大学の入学料・授業料

文化系学部

入学料 約25万円

授業料 約296万円（4年間）

理科系学部

入学料 約26万円

授業料 約417万円（4年間）

（文部科学省

「平成25年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額調査」）



◆◆ 30代のキーワード ◆◆

M字カーブと生涯所得

◆出産を機に退職する場合と、辞めないで仕事を続けた場合では、生涯所得に大きな差が。

◆家庭や職場で、働き続けたいと思う女性の意欲やスキルを活かすための仕組み作りが必要です。



（総務省「労働力調査（基本集計）」2012年）

| | 生涯所得 |
|--------------------------------------|-----------|
| 育児休業を利用せず働き続けた場合 | 2億7,465万円 |
| 育児休業を1年利用し働き続けた場合 （従前の給与の4割と仮定） | 2億5,737万円 |
| 退職後、子どもが6歳の時にパート/ アルバイトとして再就職した場合 | 4,913万円 |

なんと
2億円の
差!

（退職金含む・大卒の場合）（内閣府「平成17年国民生活白書」）

◆◆ 30代のキーワード ◆◆

ポジティブ・アクション

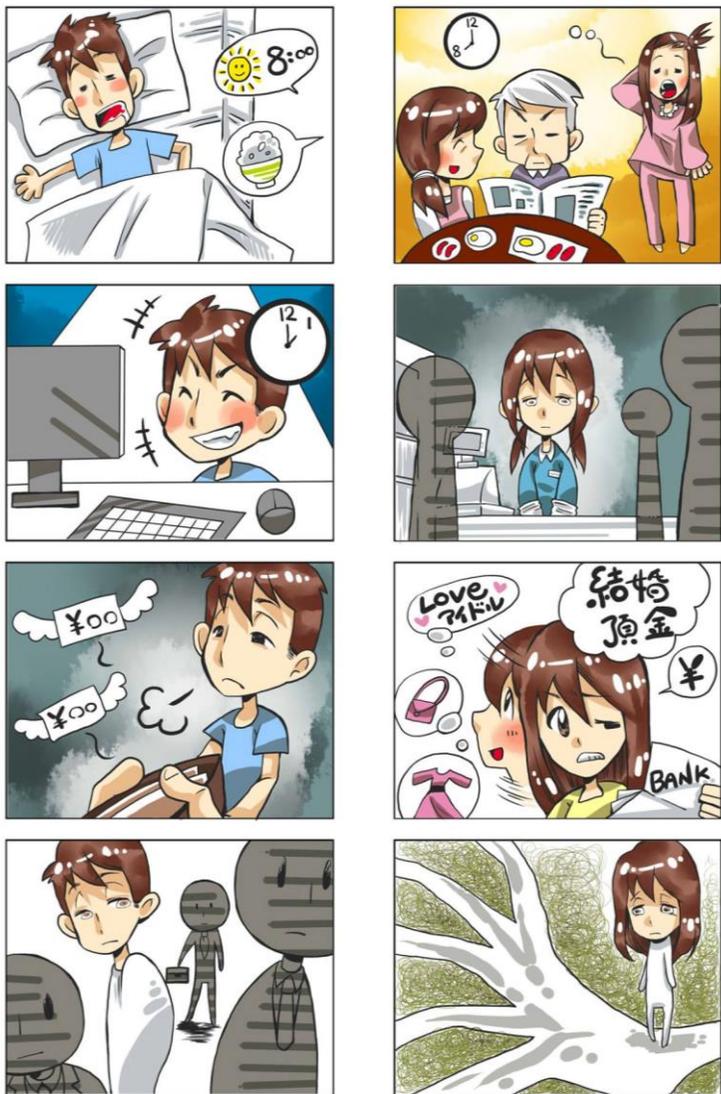
企業が意欲の高い女性を積極的に登用し、能力を発揮してもらおうという取り組みのこと。女性の勤続年数が伸び、業績も向上するというデータもあり、多くの企業で注目されています。



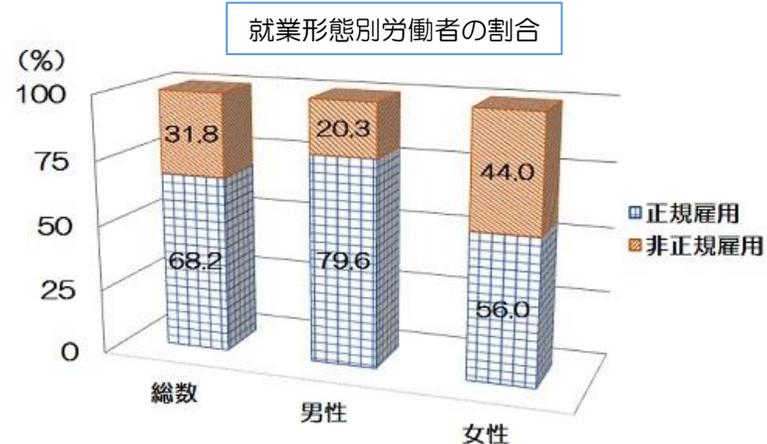
ポジティブ・アクション
普及促進のための
シンボルマーク

データで見る 30代のワーク・ライフ・バランス

③ 30代のいろいろな生き方編

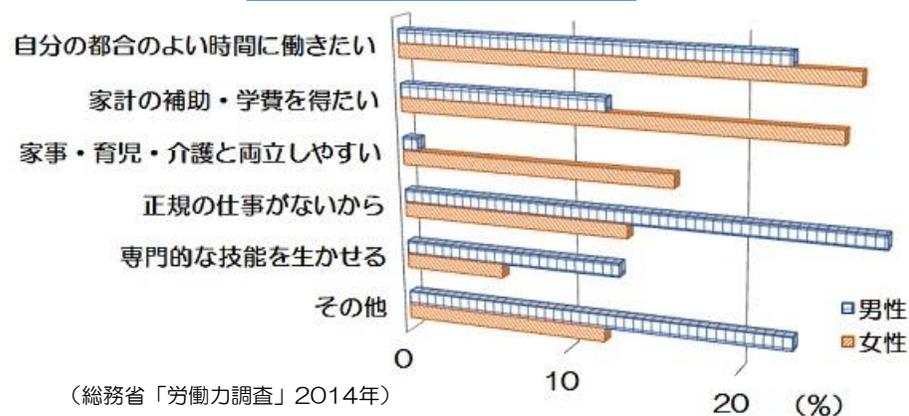


◇ 増加する正社員以外の働き方



(厚生労働省「雇用の構造に関する実態調査(若年者雇用実態調査)」2013年)
働く女性の半数近くが非正規雇用です。

非正規の仕事に就いた理由



(総務省「労働力調査」2014年)

男性は「正規の仕事がないから」がトップとなっていますが、次点は「自分の都合のよい時間に働きたい」です。

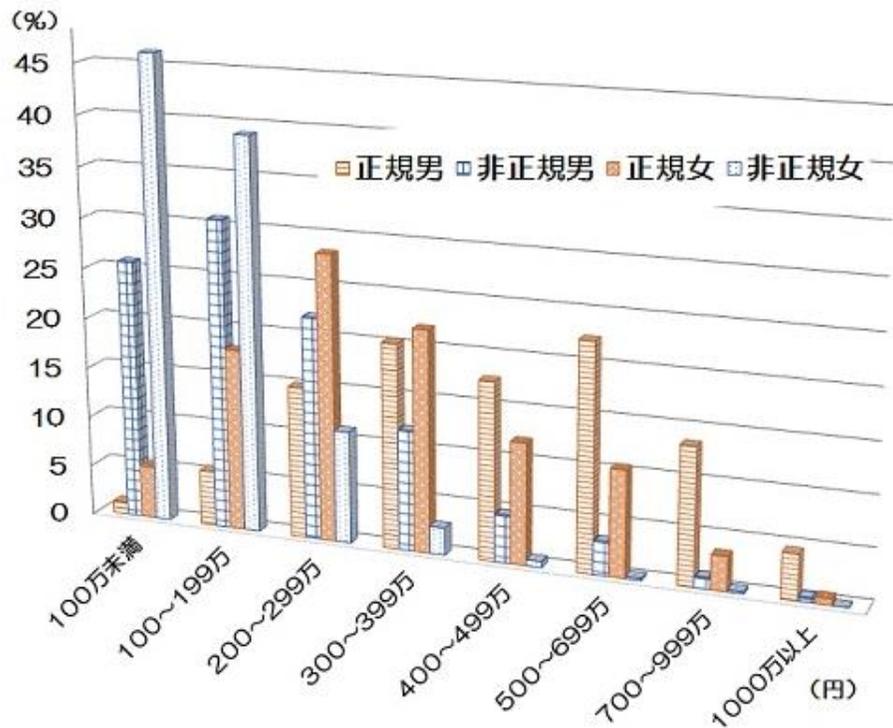
必ずしも正規雇用にとらわれず、自由な働き方をしたいという人も増えているようです。

◇ 年収には大きな差

◆ ライフスタイルに合わせて自由な働き方を選ぶ人は増えていますが、正規雇用と非正規雇用では収入に大きな差があります。

非正規では男女ともに年収200万円未満の占める割合の大きさが目立ちます。年収200万円未満で家族を養っていくことは難しく、年収の少なさゆえに結婚や子育てをあきらめる人も増えています。

正規社員と非正規社員の年収の差



(総務省「労働力調査」2014年)

◇◆ 30代のキーワード ◆◇

生涯未婚率

◆ 生涯未婚率は「50歳時」の未婚率（結婚したことがない人の割合）を算出したものです。

「一生に一度も結婚をしない」ことは、珍しいことではなくなりつつあります。

| | 男性 | 女性 |
|-------|--------|--------|
| 1970年 | 1.70% | 3.34% |
| 1980年 | 2.60% | 4.45% |
| 1990年 | 5.57% | 4.33% |
| 2000年 | 12.57% | 5.82% |
| 2010年 | 20.14% | 10.61% |

(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」2014年)

◇◆ 30代のキーワード ◆◇

シェアする暮らし



(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団調べ 2014年)

必要な時だけ車を借りる「カーシェアリング」や、ずっと賃貸の家でかまわないと考える人が増えています。

40代の先輩方からアドバイスをいただきました。

「30代でやっておいてよかった！」こと、あるいは「30代でやっておけばよかった〜！」と思うことは何ですか？

自分の世界を広げておく。外のネットワークを作っておくことで閉ざされた人にならない。出会った人で40代が変わる。
(男性・未婚)

老後につながる趣味をもっておくとよかったことと、子育ては30代のうちに大変な時期（乳幼児期）を過ごしておいてよかった。(女性・既婚)

子どもが小さいうちに資格取得などスキルアップしておけばよかった。(女性・既婚)

もっと遊んでおけばよかった。遊園地とか花火大会とか、今は恥ずかしくてなかなか行けない。(女性・既婚)

学校の勉強でも独学でもなんでもいいから勉強しておけばよかった。40代でスキルアップするには必要。(男性・既婚)

ダイエット(笑)
きれいな40代を迎えたかった。。。 (女性・既婚)

自分が思うことは全部やっておけた。
振り返らない！ (女性・未婚)

バカ騒ぎをもっと
しておけばよかった。(男性・未婚)

「30代で、一番大変だったこと」は何ですか？
また、それをどうやって乗り越えましたか？

仕事！！仕事ばかりになってしまうので会社以外の世界に触れて考え方や生き方を学んだ。(男性・未婚)

出産後、育児に関する悩みがあり、ママ友や自分に近い存在の人の
おかげで乗り越えられた。(女性 既婚)

仕事で大きな転機があり
妻に支えてもらった。(男性・既婚)

子どもと仕事など、生活のサイクルの変化や
転職などがありしんどかった。
夫や両親に支えてもらった。(女性 既婚)

特になし！楽しく過ごせた。(女性・未婚)

子どもが入学し、子どもの下校時間と
仕事のバランスの取り方が大変だった。
祖母に協力してもらったり、
放課後クラブを利用して乗り越えた。(女性 既婚)

40代の先輩から30代の皆さんへのメッセージ

光り輝くチャンスを逃すな!!! チャンスは見える。
備えた人・準備した人に未来がある! (男性・未婚)

振り返るとあっという間なので
自分の楽しみも作ろう!! (女性 既婚)

可能性があれば出産というか、我が子をもつことは大切。
40代になると実際産むことにリスクがあったり
子育ても体力的にしんどくなる。(女性・既婚)

40代になると自分にブレーキが強くなるので
30代を楽しんで!! (男性・未婚)

ママ友など子どもを通じた友達を、
たくさん作っておくといいよ! (女性 既婚)

仕事も含め自分の時間や夫との関係など、
子育てに忙しい中でも意識しておくこと
40代以降に繋がり、充実した人生が送れるよ。(女性 既婚)

大人ぶらずに、子どもの気持ちをもって
色んなことにTRY!してみてください。(男性・未婚)

やりたいことをやって!
(女性・未婚)

【発行に寄せて】

平成27年9月に、女性が十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するための女性活躍推進法が成立し、働く女性を応援する機運が高まってきました。女性の活躍には周囲の理解と協力が不可欠です。家族や職場などそれぞれの場面で話し合い、互いに思いやりを持って行動できるといいですね。30代は、大きく環境が変化する年です。今号では、30代のワークライフバランスについて紹介していますので、人生の選択肢を広げ、自分らしいライフスタイルを見つける参考にしてください。

東海市 女性・子ども課 女性活躍支援担当

【編集後記】

30代は女性にとっても男性にとっても、人生の中で特に変化の続く年代ではないでしょうか？
結婚やキャリア、出産や子育てなど、生涯を通して決断をしなければならないシーンが多々訪れると思います。目の前に訪れた物事だけでなく、「自分はどう生きていきたいか?」という意識をもって人生を歩んでいって欲しいという気持ちで作った一冊です。

NPO法人Smiley Dream 男女共同参画担当